

(様式4)

平成30年4月24日

平成30年度 第1回 大阪市立夕陽丘中学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立夕陽丘中学校
校 園 長 名 中 務 高 俊

日 時	平成30年4月23日(月)	
場 所	大阪市立夕陽丘中学校 多目的室	
出 席 者	委員 など	川村光(委員長)、米谷忠俊(委員)、川口伊佐夫(委員)、藤田真理子(委員)
	校 園	中務高俊(校長)、吉次憲保(教頭)、永安仁詩(首席、生活指導部長)、 渡邊崇之(教務主任)、板木一馬(生徒指導主事)
	区役所	寺田順二(窓口サービス課 課長代理)
議 題	(1)学校協議会の目的等、共通理解 (2)運営に関する計画について (3)意見交換	
協 議 要 旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 協議会運営要項について共通理解が図れた。 (2) 目標及び取組内容に関して理解を得た。 (3) <意見・質問など> ・自己肯定感について ・防災教育について	・引き続き、学校協議会委員として役割を担っていただくことを確認した。 ・今年度の数値目標は、昨年度のアンケート結果から設定している。 ・昨年度の反省より、より生徒の実態に合わせて年度目標を設定していることは、大変よいと思う。教員の無理のないような目標を設定してほしい。 ・「自分によい所がある」の肯定的に回答する割合が低い現状があるが、本校のひとつの特徴であるのかな。 ・中学校ではピア・サポートの取組を実施したり、道徳で読み物教材を活用した授業を行ったりしている。 ・「自分によい所がある」アンケートだけでなく、他者理解に関するアンケートを実施してはどうか。 ・高等学校では、プレゼンの発表で自分の意見を言う機会を多く設けている。そのことで自信を持ち積極性がでてくる。 ・防災教育の授業はあまりできていない。校長講話で、高齢者や障がい者に対する中学生の役割や備蓄物資のことを行っている。ただ、学校での訓練はしているが学校外での行動を啓蒙する機会があまりない。
協 議 資 料	平成30年度 運営に関する計画・自己評価	
	傍聴者[1]名 保護者1名	